

## 1997 年度

場所: 北海道東海大学 (札幌市南区南沢 5 条 1 丁目 1 番 1 号)

日時: 1998 年 1 月 26 日 (月)

9:10 より 受付  
9:30-12:00 一般講演  
12:00-12:45 特別講演  
12:45-13:15 総会  
13:30- 懇親会

当日会場受付にて参加費(500 円)、懇親会費(1800 円)をお受けいたします。講演にスライドを使用される方は、発表 1 時間前までに会場入口でカセットにご自身でご準備ください。

講演を終了した演者の方は次の講演の座長をお願いします。

9:30-9:45	大雪山、高根ヶ原の風衝砂礫地における「しっぽ状植生」の出現環境	会田 民穂・平川 一臣・渡辺 悌二(北大・地球環境研)
9:45-10:00	野幌丘陵南部におけるツガ属の小集団の消滅について	星野 フサ*(札幌静修高校)・中村俊夫(名古屋大)
10:00-10:15	カシワ二次萌芽林の発達	清野 美枝子*・紺野 康夫(帯広畜産大学環境植物学)
10:15-10:30	ミズナラ天然林の開葉及び雄花着生量の変動	生方 正俊*・飯塚 和也(林木育種センター北海道)・林 英司(林育センター)
10:30-10:45	<i>Blepharis indica</i> (Acanthaceae) 個体群における種子散布タイミングが生活史と種子生産に与える影響	成田 憲二 (北大・環境)
10:45-11:00	西部ジャワ高地におけるショウガ科草本の分布特性	西村 貴司(北大・地球環境研)
11:00-11:15	開放型温室を用いた環境操作に対する高山植物の反応—大雪山での3年間の研究	鈴木 静男・工藤 岳(北大・地球環境研)
11:15-11:30	ミズナラは、植食者に食害されると、蜜を分泌しアリを呼ぶ。しかし、	萬屋 宏(北大・工学部応用化学)
11:30-11:45	シカの強い食害圧下での森林再生の試み	石川 幸男(専修大学北海道短大)
11:45-12:00	シャチホコガ幼虫の体サイズと食樹植物の葉の硬さ	吉田 国吉(苫小牧市博物館)
12:00-12:45	有珠山噴火から 20 年:生態系の変化	露崎 史朗(北大・地球環境研)